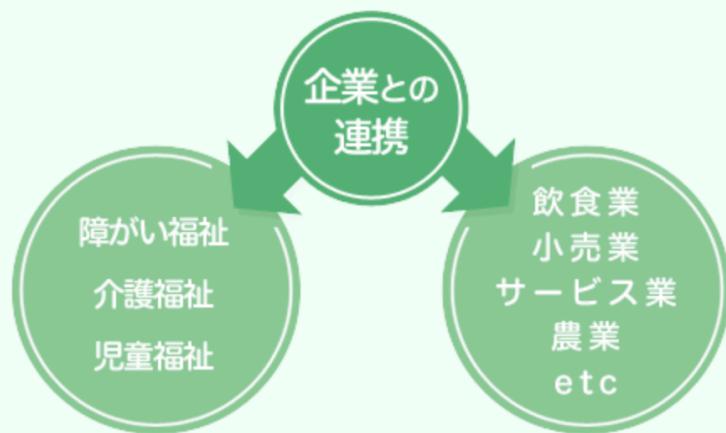


一般社団法人みどりの輪

R7年度 事業計画書

はじめに

当法人の目的



- 異業種との連携を通じた障がい者の雇用創出、職場定着、賃金の向上を目指します。
- 農業関係団体等と連携し、不用食材の有効活用による環境保全に向けた取り組みを行います。
- 一連の事業活動を通して『衣食住』について学びます。

今現在の日本が抱える問題として少子高齢化・人手不足が大きく取り上げられています。また、時代の流れや景気に左右されることなく人口構造が変化しつつも常に抱える問題として、障がい者（児）については、食生活や環境問題と共に無くなることない課題です。

当法人ではこの問題について考え、福祉と様々な業種が連携することによって、今の会社が抱える問題の解決に取り組み社会貢献活動をしながら、人として正しいこと本来あるべき姿は何かにを『衣食住』を通して学んでいきます。連携先である各福祉事業と様々な業種を繋ぐハブとしての役割を担い、それぞれが連携することで新たな価値を創造します。

今後の日本が抱える問題として人口減による人手不足があげられますが、AIの進化によって機械やシステムまたは外国人労働者の受け入れによって賄える部分もありますが、やはり人の手によってしかできない、心の通った仕事を日本国内の人たちで解決していくことが理想です。

1. 年度方針（重点項目）

1. 地域食堂の安定運営と利用促進
2. 外国ルーツ住民との交流促進と日本語支援の強化
3. 障害者雇用の創出・支援体制の強化
4. 地域住民・企業・自治体との協働体制の拡充
5. 食を通じた多文化理解プログラムの構築
6. 生活上の困難に直面する様々な人々への支援強化
7. 持続可能な運営基盤（財源、多文化人材、ボランティア）の確保

2. 年間主要事業

（1）地域食堂運営事業

目的：

子ども・高齢者・障害者・生活困窮者・外国ルーツ住民を含む地域住民の「居場所」と「食の支援」を提供する。

内容：

- ・ 毎月1回以上の新大宮cojika食堂を開催
- ・ 外国ルーツ（宗教等）の家庭料理を取り入れた“多文化メニューの日”的実施
- ・ 食材寄付・企業協賛の仕組みづくり
- ・ 食物アレルギー・宗教的配慮（ハラール等）に対応したメニュー検討

対象：奈良市大宮・芝辻地域住民全般

（特に子ども・外国ルーツ住民・ひとり親家庭・高齢者・障害者）

年間実施回数：12回以上

期待成果：延べ利用者1500名、多文化対応メニュー2種類開発

(2) 学習支援・生活サポート事業

目的:

ひとり親家庭など孤立しがちな子ども達や外国にルーツを持つ子ども達の学習を支え、地域で安心して暮らせる環境を整える。

内容 :

- 宿題カフェの実施(毎週月曜日～金曜日)
- やさしい日本語教室の実施 (毎月1回)
- 生活相談 (進学・就職・行政手続き支援)
- 子どもの学習支援
- 地域の教育機関・学校との連携

年間実施回数：200回

対象：地域の外国ルーツ住民、子ども（小学生～高校生）、保護者

(3) 地域連携・協働事業

目的:

自治体、企業、NPO、学校、住民などと協働し、子ども・高齢者・障害者・生活困窮者・外国ルーツ住民を含む地域住民を支える仕組みを作る。

内容 :

- 食材・物品提供を行う企業との連携
- 地域の大学と連携したボランティア受け入れ
- 自治体の多文化共生課・社会福祉協議会との情報連携
- 他団体との合同イベント開催
- 地域の高齢者福祉施設との連携強化
- 近隣小学校・PTAとの連携による情報共有

(4) 組織運営事業

- 理事会 年4回
- 会計・コンプライアンス体制の整備
- ボランティア育成研修
- 会員制度の拡大

(5) 収益事業

- 福祉イベント等への飲食催事出店
- 各種イベントの企画・運営・仲介
- 福祉施設と連携し異業種との連携調整